

札幌スポーツ館杯争奪

令和4年度 第22回 札幌地区中学生バドミントン団体戦大会開催要項

1. 主催 札幌地区バドミントン協会
2. 主管 札幌地区バドミントン協会中学運営委員会
3. 協賛 (株)スポーツハウス 札幌スポーツ館

本大会は(公財)日本バドミントン協会をはじめ、関係する各団体が定めた新型コロナウイルス感染症防止のためのガイドラインに沿って運営をする。

4. 期 日 地区予選 令和4年12月 3日(土)・4日(日) 開場・試合開始時間 地区ごと
本 選 ※ 出場チーム数により3日だけ、4日だけで終わる地区もあり
令和4年12月18日(日) 開場 8:45 試合開始 9:00
5. 会 場 地区大会会場 会場決定後、ホームページで発表
(会場は変更になることもあるので情報に注意すること)
本 選 会 場 18日 北ガスアリーナ札幌46
札幌市中央区北4条東6丁目 TEL(011)251-1815
6. 種 目 男女団体グレードⅠ、Ⅱ、Ⅲの6種目
7. 競技規則 現行の(公財)日本バドミントン協会競技規則、大会運営規程、並びに公認審判員規程による。
8. 競技方法
 - ・グレードⅠ、Ⅱ、Ⅲによる団体戦。複1-単1-複2の順に行う。
 - ・3日(土)・4日(日)に16地区で地区予選を行い、各グレード、優勝チーム1チームが18日(日)に決勝トーナメントを行う。
 - ・地区予選、決勝トーナメントともトーナメント戦で行う。
 - ・地区予選、決勝トーナメントとも、原則3マッチ行うが80分で終わらなかった場合は、**大会特別ルールで勝敗を決めることとする。(別紙1、2を参照)**
 - ・**すべてのグレード 15点3ゲームマッチ(14-14になってもあと1点、延長ゲームなし)**
決勝トーナメントは、準決勝以降は、延長ゲームルールを採用する。
9. 使用用器具 (公財)日本バドミントン協会検定合格用器具を使用する。
使用球は第2種検定合格球(水鳥球)とする。
10. 参加資格
 - ・令和4年度札幌地区バドミントン協会に登録済みの中学1~3年生とする。
 - ・登録確認精査後に未登録であった選手への追加登録はできないので注意すること。
当該選手は出場できなくなるので、参加選手の登録確認を確実にすること。
 - ・氏名、学校名がプログラム、ホームページに掲載されることを了承する者。
 - ・本年度の特別ルールを了承、理解し、新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインを遵守でき、所属校に保護者参加承諾書を提出し、かつ大会当日、責任者が健康調査を行った者。
 - **当日の体調不良者、発熱している者、風邪症状のある者は参加できない**

今年度の特別グレード編成 * 出場条件は、学年のみとする

グレードⅠ (GⅠ)	3年生以下の部	単一学校の3年生以下で編成されたチーム
グレードⅡ (GⅡ)	2年生以下の部	単一学校の2年生以下で編成されたチーム
グレードⅢ (GⅢ)	1年生以下の部	単一学校の1年生で編成されたチーム

- ☆ 単一学校の例外~試合機会を提供するための今年度限りの例外
- 【学校間連携選手】学校間連携が提携されていることが証明されている選手
ただし、連携校以外からは参加できない
 - 【特例選手】学校間連携選手ではなく、部活動のない学校であるなどの、本大会への参加が困難な選手で、条件を満たした選手
 - 【連合チーム】どうしても人数の関係で参加できない選手が出た場合、複数の学校で連合チームを地区主任の調整により結成できる ただし条件を満たしたケースに限る

◎ 詳細は「大会情報1」を参照すること

- ・出場チーム数の制限はしない。(同一校からの複数チーム出場可)
 - ・監督(引率者)は、1校2名までとし、「校長が認めた成人の協会登録者(教員、中体連登録外部指導者・登録は令和4年度は努力義務)で、大会当日、引率する学校の選手の保護、監督に一切の責任を負える者」とし、学校間連携校は連携母体校が監督を行って良い。
11. 団体編成
 - ・上記例外を除き、単一校で、監督(引率者)1名、選手5~8名で編成すること。
複数チームが出場する学校の場合、監督は複数チームの監督を兼ねることができる。
 - ・負傷、疾病等により選手を変更する場合は、当日の朝、選手変更届を会場担当者に直接渡すこと。選手が4名以下になった場合は、原則としてそのチームは試合には出場できない。
 - ・地区予選を勝ち進み、本選に出場する際の選手変更も、地区予選に登録、参加していない選手に限られる。**(令和4年度に限り、その限りではない)**

12. 参加料 **1チーム 5,000円**

・学校間連携選手、特例選手の学校のみの領収書は発行しないので、学校間で処理すること。

13. 申込要領

・所定の参加集計表データ、参加申込用紙データに必要事項を入力（登録ファイルの大会運営用からコピー）の上、印刷し（手書きはさけること）、申込締切日までに参加料を添えて札幌スポーツ館大会事務局に持参するか現金書留で郵送すること。

☆学校参加同意欄も（学校長職印必要）記入し、申込時に提出すること。

（学校間連携選手、特例選手がいる場合、その分の「学校参加同意書」も必要）

※申込締切後は一切受付をしないので、特に郵送の場合は大会事務局に確認をとること。

・また、参加選手を打ち込んだ参加集計表、参加申込用紙（excelファイル）を、下記メールアドレスに期日までに送付すること。

必ずファイル名を「団体〇〇中申込」とすること。

札幌市内中学校・・・校務支援メールを使い「清田中学校 原口 朋大」まで
石狩管内中学校、国立学校、私立中学校
・・・郵送でお送りしてある連絡用メールアドレスまで

※手書き、郵送、紙面のみでの申込、申込責任者名、団体戦の監督者名の記入がない場合受け付けない。

・学校間連携選手、特例選手は、出場要件記入場所に学校名を明記すること。

・同グレードに複数のチームを参加させる場合は、学校名の次ぎに必ずランク順にアルファベットで通し記号をつけること。記入がない場合は、大会事務局でつけるが、その場合、チームランクによる組み合わせの質問、抗議は一切受け付けない。

11月10日(木)
より移転し、
リニューアル
オープン
しています

申込締切 **令和4年 11月 23日(水) 12:00 必着**

札幌スポーツ館 〒060-0062

札幌市中央区南2条西4丁目11番地 Pivot（ピヴォ） 4階

TEL：011-222-5151

14. 組合せ

札幌地区バドミントン協会中学運営委員会に一任する。

15. 表彰

グレードI優勝チームに、賞状と札幌スポーツ館杯（カップ）を貸与し、翌年レプリカを授与する。グレードI 2位、3位チームと、各グレードII、III上位3位までに賞状とカップを授与する。

16. 個人情報の取り扱いについて

参加する選手、引率責任者、家庭、学校、団体は、以下を了承すること。
・申込用紙に記載された学校名、氏名（フルネーム）の個人情報は、大会運営に使用し、組合せ、大会結果を札幌バドミントン協会ホームページおよび（株）スポーツハウスホームページに掲載する。
・大会写真を札幌地区バドミントン協会ホームページおよび（株）スポーツハウスホームページに掲載することもある。
・大会結果は新聞社に通知することもある。

17. その他

①競技中のけがについての応急処置は主催者が行うが、一切の責任は負わない。

なお、参加者は各自で傷害保険に加入し、健康保険証を持参すること。

②試合時の色付き着衣およびアンダーギアは、令和3年度（公財）日本バドミントン協会審査合格品とする。ただし、学校指定の体育着（Tシャツ・短パン）はその限りではない。

背面には学校名と名前を明記したゼッケン（縦15～20cm、横30cm）をつける。

シャツは、丈が短いレディス・タイプであっても、パンツ、または、スカートの中にしめる丈の長さであれば、必ずしまつてプレーすること。

③監督・コーチ・マネージャー他、ベンチに入る者は、マッチ（試合）にふさわしい服装、態度で臨むこと。シャツ・ポロシャツ・ブラウス、ズボンまたはスカートとし、ジーンズやビーチスタイル、パミュダ、ショーツ、スリッパとサンダルは禁止する。

④参加校は、大会会場である学校体育館、公共施設体育館の「利用上の連絡、注意」を理解し、遵守すること。とくに駐車場利用について協力は参加校の義務とする。引率者は遵守すること。

⑤参加申込書に氏名のない引率者、選手以外の方の会場内の立ち入りは、コロナウィルス感染症対策、会場の密状態を避けるために、送り迎え等も含めて、例外なくお断りいたします。体調不良者のお迎え以外の物品受け渡し等は、引率者と連絡を取り合い会場外でお願いします。

⑥大会情報は、結果も含めて、すべて下記札幌地区バドミントン協会ホームページに公開、掲載するので、参加校は必ず閲覧、確認の上参加すること。

（株）スポーツハウスホームページ URL：<http://www.sportshouse.info/>

札幌地区バドミントン協会ホームページ URL：<http://www.sapporo-badminton.com/>

⑦この大会についての問い合わせは、札幌地区バドミントン協会「清田中学校 原口 朋大」まで電話、FAX、校務支援メール、郵送でお送りしてある連絡用メールアドレスまで行うこと。

（勤務先：清田中学校）電話：011-881-2034 FAX：011-881-5449

第22回 札幌地区中学生バドミントン団体戦大会
令和4年度 大会特別ルール

2022.11.10

出場校、各チームは、この大会特別ルールを大会前日までに熟読し、徹底してください。
 このルールによる試合進行が控え選手を含めた全選手の試合時間を確保することになります。

1. 特別ルール概要

1 対戦を80分限定とし、タイムテーブルに記された開始時間から開始し、終了時間に終了し、延長はしない。

- ・各チームは学校に関係なく、タイムテーブルに記されたチームの集合時間に会場に入場する。
- ・勝ったチームは、連続で試合をするようにタイムテーブルを調整し、「待機時間」が発生しないようにする。
- ・負けたチームは、例外なく帰宅する。(勝ったチームを待つ、応援することは認めない。)
- ・80分タイム計測は、全コート同時に行う。オーダー用紙提出遅れなどで試合時間を減少させて対応する。
- ・事前準備、迅速な動きを心がけること。
- ・感染症対策、気象条件、交通障害などによるトラブルには対応するが、「対戦をすべて1ゲームで行う」などの変更を行うこともあるので、あらかじめ了承すること。

あいさつ→じゃんけん→練習、手洗い→第1複→単→第2複→控え選手戦
交流戦→あいさつ→勝ち～次コート
負け～帰宅

の順で行う。

(各校3分ずつ)

2. 勝敗の決定と残った時間の使い方

(1) 70分以内で、第2ダブルスまで終了した場合

- ・70分以内で、第2ダブルスまで終了した場合、控え選手戦(勝ち、負けチーム問わず)を行って良い。
- ・初戦以外、70分以内で第2ダブルスまで終了し、そのまま終了しても良い。原則、控え場所はないので、勝ちチームは勝ったコートで次の試合まで待機する(自校のみの練習はできない)。
- ・控え選手戦が終わっても10分以上時間が残っていたら、交流戦を行っても良い。
- ・控え選手戦、交流戦の実施の可否、シングルスを行うか、ダブルスを行うか、何マッチ行うか、点数、ゲーム数等は、両校監督の協議で決定する。
- ・自チームが控え選手戦、交流戦の希望がなくとも、相手チームが希望した場合は、希望するチームに応じる。5人で編成したチームでも、一度試合した選手が相手控え選手と試合をすること。
- ・控え選手戦、交流戦に出場した選手の疲労等については、勝ちチームに対しての考慮はしないので、あらかじめ了承すること。
- ・控え選手戦、交流戦の戦績は、対戦成績に一切反映させないこと。
- ・控え選手戦、交流戦を行った学校は、80分のタイム計測ブザーが鳴る前に、最後のあいさつ済ませておくこと。
- ・勝ったチームは、次の試合をするコートに移動。負けたチームは、速やかに帰宅する。

(2) 80分で、第2ダブルスが終わらなかった場合

①残り5分を切った段階で、第2ダブルスの試合が開始できなかった場合。

2-0なら、第2ダブルス打ち切り、控え選手戦は行わない。

1-1なら、第1ダブルス、シングルの ①得失ゲーム差 ②得失点差 ①②も同点の場合、抽選とする

②2-0で、残り5分を切った段階で、第2ダブルスの試合を行っていた場合、第2ダブルスは打ち切り、控え選手戦は行わない。

③1-1で、残り5分を切った段階で、第2ダブルスの試合を行っていた場合、以下の状況で勝敗を決定する。

- 第1ゲーム途中 時間内に第1ゲームが終了なら、第2ゲームを開始せず、第1ゲーム勝利チームを勝ちとする。第1ゲームが終了していなかったら、ブザーが鳴ったラリーも続行、その時点での点数を多くとっていたチームを勝ちとする。同点の場合、決勝ラリーを行い、そのラリーに勝ったチームを勝ちとする。
- 第1ゲーム終了 第1ゲームで終了させる選択権を第1ゲーム勝ちチームに与える。
(第2ゲームを開始しても良いが、第2ゲーム途中の得点は勝敗に反映させない)
- 第2ゲーム途中 ブザーが鳴ったラリーは打ち切り、第1ゲーム勝利チームを勝ちとする。
- 第2ゲーム終了 第3ゲームは開始する。勝敗の決定は「第3ゲーム途中」へ。
- 残り2分以内で、第2ゲームが終了 第3ゲームを開始せず、第1、第2ゲームの得失点差で勝利チームを決定する。
- 第3ゲーム途中 ブザーが鳴ったラリーは打ち切り、第1、第2、第3ゲームの得失点差で勝利チームを決定する。

3. 監督会議について

- ・地区予選では、引率者は、開門（最初のタイムテーブルサイクル入場時間）15分前に集合、監督会議を行う。監督は、必ず監督会議に参加し、大会運営に協力すること。
- ・本選では、当日に監督会議は行わない。ホームページに記載される書面を確認する。
- ・質問等は、開催要項 17. その他 ⑦ を参照のこと。

4. オーダー用紙について

- ・オーダー用紙は、地区予選、本選とも当日配布はしない。ホームページに掲載したPDFから「カラー印刷」し、予備分も含めて各チーム事前に複数枚準備しておくこと。
- ・地区予選では、各校、全チームの第1試合のオーダー用紙は事前に準備して、監督会議で提出する。
- ・本選では、各校、全チームの第1試合の入場時間に健康調査書と同時に回収するので、事前に準備しておくこと。
- ・勝ちチームのオーダー用紙は、時間内でも2-0になった時点で速やかに提出する。
- ・時間ぎりぎりの場合でも、次の80分のタイム計測は待たずにスタートするので、勝利が決まる前から準備しておき、勝敗決定後に速やかに提出すること。
- ・提出が遅れた場合でも、80分のタイム計測はスタートするので、試合開始が5分遅れた場合は、練習なしで試合を開始することになるので、特に注意すること。

5. チームの動きの流れ ～ 参加選手、引率者は確認の上、行動してください。

- ①入場時間に会場に入る（タイムテーブル2サイクル目以降は、待機場所で待機する）。
会場には早く来すぎない、会場前で待つときは、マスクをつけて密にならないように待つこと。
 - ※ 健康調査書を提出する（忘れた場合は、会場に入れない、本選では特に注意する）。
 - ※ 本選では、オーダー用紙も提出する。事前に監督署名をもらっておく。
- ②会場に入ったら、体育館の試合コートに真っ直ぐ向かう。荷物、私物はベンチに整頓して置く。
（タイムテーブル2サイクル目以降は、指示があったら、待機場所から会場に入る）
- ③荷物、私物を置いたら「あいさつ」をし、
チームキャプテンがジャンケンをして、勝ったチームが 先練習3分、シングルの主審
負けたチームが 先練習3分、第1ダブルスの主審 を行う。
第2ダブルス主審は、シングルス敗戦校が行う。
控え選手戦、交流戦の主審は、両校に任せる。
練習時間計測は、相手チームキャプテンがストップウォッチで行う。
☆80分のタイム計測は、これらを待たずにスタートするので、チームで協力し速やかに行う。
すべてが整ったら、80分タイム計測前のスタートは構わない。
- ④すべてが終了したら、「あいさつ」をし、勝ったチームは、次の試合をするコートに移動。
負けたチームは、速やかに帰宅する。

6. 競技規則の遵守について

以上の特別ルールのため、特に以下の競技規則に抵触がうたがわれる場合、主審だけではなく競技役員長、および地区主任より注意、警告を行うことがあるので、あらかじめ了承すること。

- 第16条第4項1 プレーヤーはどんなことがあっても、体力や息切れを回復できるように、または、アドバイスを受けるためにプレーを遅らせてはならない。
- 第16条第5項2 プレーヤーは本条第2項のインターバルを除き、マッチ（試合）中、主審の許可なしにコートから離れてはならない。
- 第16条第6項 プレーを故意に遅らせたり中断したりすること。